

中越沖地震被災者のために

10月15日、市内3中学校の生徒会長が日赤佐賀県本部（佐賀市）を訪ね、「新潟県中越沖地震被災者支援に役立ててください」と義援金を手渡しました。

この活動は、市内3中学校の生徒会役員を中心に今年5月に発足した「神崎市中学生サミット会議」で、「市内の中学生全員が心を一つにして取り組める活動はないか」と模索し、被災者支援を行うことに決めました。

9月に各学校で行われた体育大会で各集落のテントを回り募金を呼び掛けたほか、アルミ缶回収も行い、約16万8千円となりました。



子どもたちの収穫体験

10月19日、千代田中学校1年生（109人）が、21日には、千代田町下直鳥地区の子どもたち（21人）と保護者（30人）が、下直鳥のクリークで菱の実採りの体験を行いました。

これらの体験活動は、子どもたちに郷土の特産品について理解を深め、体験活動を通して故郷へ対する愛着を持ってもらおうと下直鳥菱組合の協力により毎年行われています。中学生たちは、事前に学校のプールで練習した甲斐もあり、バランスよくハンギーを扱い、時間を忘れた様子で菱



の実を収穫していました。下直鳥地区の小学3年生以上の子どもたちは、毎年体験していることもあり、慣れた様子でハンギーに乗り、2年生以下の子どもたちは保護者と一緒に箱船に乗り、菱の実を収穫しました。

戦没者追悼式 平和へ祈り



11月9日、神崎市中央公民館で神崎市戦没者追悼式が行われました。遺族ら約400人が出席し、戦争で失った肉親の冥福を祈るとともに、平和への気持ちを新たにしました。遺族らが戦没者に黙とうをささげた後、慰霊の碑を配置した祭壇に向かって一人ずつ献花しました。

今日の花・木



「ツブキ」の葉には長い柄があり、つやのある葉を付けます。若い葉の葉柄は食べられます。黄色の見事な花を咲かせると、菊科であることがわかります。古くから庭園などに植栽され、斑入りや小型の品種があります。



「シクラメン」は、年末を飾る鉢花の王様です。和名は「豚の饅頭（ブタノマンジュウ）」と「篝火草（カガリビバナ）」の二種類があります。現在では品種改良が進み、花色は赤、ピンク、白から複色まで大変に豊富になっています。